

令和6年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立新宿小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICTを活用したドリル学習を中心に繰り返し問題に取り組む活動をしたことで、「知識・技能」は、どの学年も目標値、区平均正答率ともに上回った。6学年に関しては、全領域目標値も上回った。
- ・図や絵、数直線を活用して考えることに児童が慣れたことで、「思考・判断・表現」は、どの学年も目標値を上回った。

(2) 課題

- ・5, 6学年においては、「主体的に取り組む態度」に関しては若干下回った。記述問題に慣れさせ、粘り強く長文を読み解く力や、解き方を説明する力をさらに身に付けさせたい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	・目標値との比較：△ ・区平均との比較：△ (達成率)	/	/
第5学年	・目標値との比較：△ ・区平均との比較：▼ (達成率)	・目標値との比較：△ ・前年度との比較：△ (達成率)：	/
第6学年	・目標値との比較：△ ・区平均との比較：△ (達成率)	・目標値との比較：△ ・前年度との比較：△ (達成率)	・目標値との比較：△ ・前年度との比較：△ (達成率)

△：上回る ▼：下回る

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第4学年 ・目標値を上回る。 ・たし算・ひきざん・かけ算の計算問題や時刻・時間の問題、長さ・重さの問題に関しては目標値を大きく上回り、校内正答率も高い。 ・図形領域や大きい数の仕組みに関する問題は目標値とほぼ同じ傾向である。	第4学年 ・目標値を上回る。 ・わり算の問題に関しては、目標値を下回り、校内正答率も低い。文章を読み解く力に課題がある。	第4学年 ・目標値を上回る。 ・記述の問題は目標値とほぼ同じ傾向であるが校内正答率は低い。長文に慣れさせ、既習学習を生活に生かす力に課題がある。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>第5学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回る。 ・小数や分数の計算問題に関しては目標値を上回っている。 ・分数の意味や表し方の問題、倍の見方に関する問題、平行四辺形の作図の問題に課題がある。 <p>第6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回る。 ・小数や分数の計算、面積や体積の求積問題、多角形の角度の求め方の問題は、目標値を大きく上回り、校内正答率も高い。 	<p>第5学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回る。 ・表から立式し、答えの求め方を説明したり、グラフから読み取れることを記述したりする問題に課題がある。 <p>第6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回る。 ・式から問題文を選択する問題や問題文から式を選択する問題に課題がある。 	<p>第5学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を下回る。 ・記述の問題は目標値を下回った。文章を粘り強く読む力と既習事項を生かす力に課題がある。 <p>第6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を下回る。 ・記述の問題は目標値を下回った。文章を粘り強く読む力と既習事項を生かす力に課題がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して繰り返し課題に取り組み、正しく計算したり答えを求めたりする力をつける。 ・算数用語や言葉の式、キーワードなどをノートに書き込ませたり、繰り返し唱えさせたりして、確実に身に付けさせる。 ・式の書き方や筆算における補助数字（繰り上がり・繰り下がり）の使い方など、ノート指導の共通理解と指導の徹底を図り、単純な計算ミス減らす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に必要な言葉や数量に下線を引かせ、自分の考えを導き出すための一助とさせる。 ・自分の考えを筋道立てて表現する経験を積ませる。 ・自己評価をする場面を設定し、課題に気づき、次に生かす力をつける。 ・具体物の操作や絵、図の活用により、自ら考え答えを求める習慣を身に付けさせる。 ・算数的活動を通して、長さや重さなどの量感を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものを教材として使用したり、題材として取り上げたりすることで、進んで学習に取り組む態度を養う。 ・ICT 機器を活用し、学習と生活の場面を結び付けさせる。 ・少人数指導の実施により、習熟に合った指導展開を行ったり、補充的な指導やスモールステップで指導をしたりすることで達成感をもつ場面を設定する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して繰り返し課題に取り組ませる。 ・既習事項の確認をし、復習プリントを実施する。 ・量感を身に付ける活動や操作活動を充実する。 ・補助数字を入れたり、マス目を活用して計算したりすることを促す。 ・位取り表などのワークシートを活用していく。 ・算数用語や定義、キーワードをノートに書き込んだり、言葉で説明させたりして、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に必要な言葉や数量に下線を引く習慣を身に付けさせる。 ・友達と考えを交流し、自分の考えを説明する場を設定する。 ・自己評価をする場面を設定し、課題に気付き、次に生かす力をつける。 ・長文問題に慣れ、問題解決に取り組む際、絵や図、線分図を活用する習慣を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しをする習慣を身に付けさせる。 ・生活に身近なものや事象を題材にした問題や課題を設定する。 ・説明したり、記述したりする場面を意図的に取り入れる。 ・少人数指導の実施により、習熟に合った指導展開を行ったり、補充的な指導やスモールステップで指導をしたりすることで達成感をもつ場面を設定する。 ・具体物を活用する活動を充実させ、学習したことを生活に生かすよう促す。 ・長文問題に慣れ、粘り強く課題に取り組む態度を身に付けさせる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して繰り返し課題に取り組ませる。 ・作図活動を充実する。 ・学習の中で既習事項を確認する場を設ける。 ・算数用語や定義、既習学習を確認し、必要に応じて復習プリントを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と考えを交流し、自分の考えを説明する場を設定し、多面的な考えを知る機会をつくる。 ・問題解決に取り組む際、数直線を活用する習慣を身に付けさせる。 ・説明したり、記述したりする場面を意図的に取り入れる。 ・自己評価をする場面を設定し、課題に気付き、次に生かす力をつける。 ・長文に慣れ、問題場面を正しく捉えるように声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しをする習慣を身に付けさせる。 ・長文問題に慣れ、粘り強く課題に取り組む態度を身に付けさせる。 ・既習事項を生かして考える習慣を身に付けさせる。 ・少人数指導の実施により、習熟に合った指導展開を行ったり、補充的な指導やスモールステップで指導をしたりすることで達成感をもつ場面を設定する。